

動物とともに 生きることの 心理学

2026 11月8日 日 申込期限：
11月2日(月)



14:00 ~ 16:00 《13:50 開場》

Zoom ウェビナーによるオンライン開催

私たちは、家庭や地域社会など、さまざまな場面で動物と
かわりながら暮らしています。動物は、家族のような存在
として心の支えになることもあれば、「推し」の対象となったり、
その一方で嫌悪の対象となったりすることもあります。
私たちは動物をどのように捉え、どのような関係を築き、
その関係は私たちの心や行動に何をもたらすのでしょうか。

本シンポジウムでは、人と動物のアタッチメントや、
動物に対する態度に関する心理学研究を紹介します。
そして、身近な動物とのかかわりから、人と動物をめぐる
社会的課題までを心理学の視点から捉え直し、
動物とともに生きることについて考えます。

参加費
無料

申込先着
500名

認定心理士の方に
限らずどなたでも
ご参加いただけます。

SYMPOSIUM
シンポジスト



藤岡 久美子 先生

山形大学
教育学部

伴侶動物とのかかわり

あなたにとって「伴侶動物」はどのような存在でしょうか。
心の支え、一緒にいると元気が出る、離れると寂しい、触ると
心地よい……。伴侶動物は時に、家族、何でも話せる親友、
特別なパートナーなどと同等に、あるいはそれ以上に強い絆
や心のよりどころになることがあります。本話題提供では
「人と動物のアタッチメント」を中心に、伴侶動物が私たちに
与えてくれる恩恵について研究を紹介します。伴侶動物と過
ごす中で得られるさまざまな心理学的な気づきについても、
共有していきたいと思います。



武田 美亜 先生

青山学院大学
コミュニティ人間科学部

私たちは動物をどう見なし、どう扱うか

あなたは「動物好き」ですか？即答できる方も迷いつつ答える
方もいらっしゃると思います。「動物」と一言にいっても、ネコ、
カラス、カツオ、トンボ、ミミズ、タコなど、具体的な種を挙げて
いくと、それぞれに対する好き嫌いの評価や抱くイメージは
千差万別です。同じ種に対してすら、それが飼われているもの
か野生のものかなどの背景によって、1人の中でその評価が
異なることがあります。本話題提供では、人々の動物に対する
態度に関する研究をご紹介します、人と動物の関係にまつわる社会
的課題への対応にどう活かせるかを考えます。



司会：平島太郎(愛知淑徳大学心理学部)

ENTRY

お申込及び
ご参加方法

URL または QR コードより「イベント名」と「開催日」をご確認の上、必要事項を入力してお申し込みください。

<https://psych.or.jp/authorization/ninteinokaievent/>

- 申込された方には確認メールが届きますので、当日は確認メールの「ウェビナーに参加」よりご参加ください。
- インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンが必要です。通信料は参加者負担となります。
- 録画・録音はご遠慮ください。



企画 公益社団法人日本心理学会 認定心理士の会 東海支部

共催 東海心理学会、愛知淑徳大学心理学部

お問合わせ 公益社団法人日本心理学会事務局 ✉ jpa-ninnokai-event@psych.or.jp